



停電が起きた時の 「自立運転」 使用法

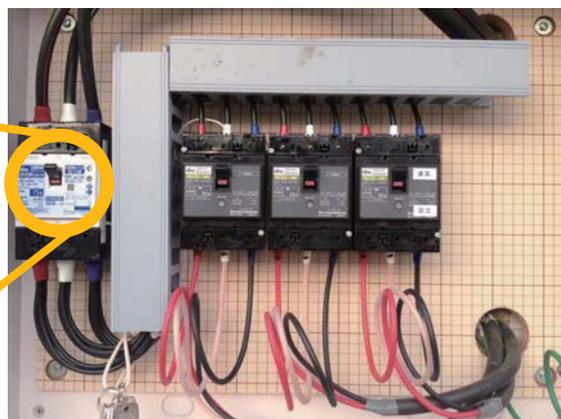
① 太陽光発電用ブレーカーを必ず<OFF>にしてください。

※全量契約の場合は屋外の集電箱の中にあります



万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります

OFFにする



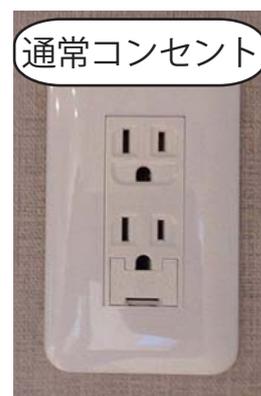
② 電気機器を自立運転用コンセントに接続し、切替スイッチを<自立>にしてください。



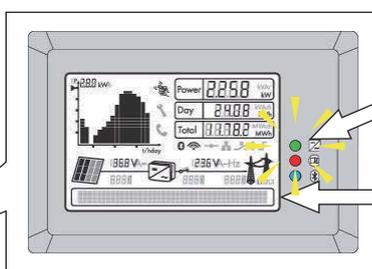
運転モード切替スイッチ

表示ランプ

※スイッチやランプの配置、形状は異なることがあります。



③ LED(緑)が点滅し、「自立運転中」のメッセージが表示されます。



LED

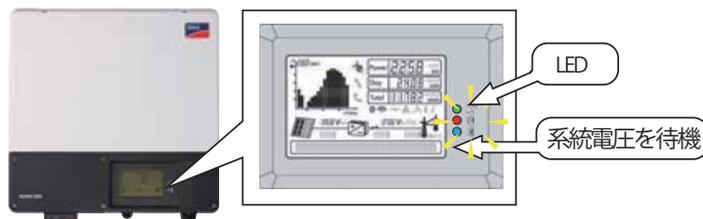
自立運転中

④ 1分後、コンセントの表示ランプが点灯したら使用可能です。

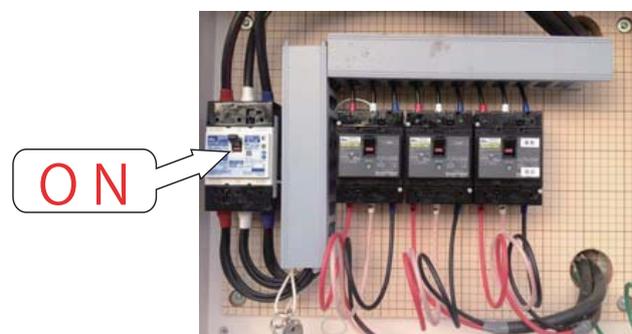
- ① 自立運転用コンセントからプラグを抜き、
運転モード切替スイッチをOFFに



- ② 緑LEDが点滅しているのを
確認してください。



- ③ 太陽光発電用ブレーカを
<ON>にしてください。



- ④ 300秒後に連系運転が始まり、緑LEDが点灯します。

自立運転を利用する際の注意事項

自立運転コンセントに、人命にかかわる医療機器や常時接続を必要とする機器を接続しないでください。→・全ての医療機器、・灯油やガスを用いる冷暖房機器、・パソコンなどの情報機器、その他、接続した機器が停止すると生命や財産に損害を及ぼすもの。

- ・天候や日射量によっては、発電が不安定になり、自立運転用コンセントの電圧出力が変化する場合があります。
- ・自立運転に切り替える前に必ず太陽光発電ブレーカーを「OFF」にしてください。
- ・自立運転用コンセントを使用中は電力系統への給電は行われません。
- ・太陽光がなければ発電できませんので、夜間は自立運転用コンセントが機能しません。
- ・掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用する場合に保護機能でパソコンが停止することがあります。
- ・夜間に停電が発生した場合は、自立運転モードに切り替えしないでください。
- ・パソコンの設定を連系運転のままにして、停電の復帰を待ちます。停電が長引く場合は、日の出を待ってから自立運転モードに切り替えてください。
- ・過負荷であるか太陽照射が低すぎると、自立運転用コンセントが20秒間中断されます。中断後20秒が経過すると、自立運転用コンセントが自動的に電圧供給を再構築しようとします。このため、接続された負荷が不慮にスタートすることがあります。
- ・最大1500Wまでです。電気機器が電力を消費すぎないように注意してください。
- ・電力が安定供給されないと確実に作動できない機器は、自立運転モードで使用しないでください。
- ・自立運転用コンセントに機器を接続したままにしないでください。自立運転用コンセントに接続した機器が突然動作して感電や火災や機器故障が起こる恐れがあります。